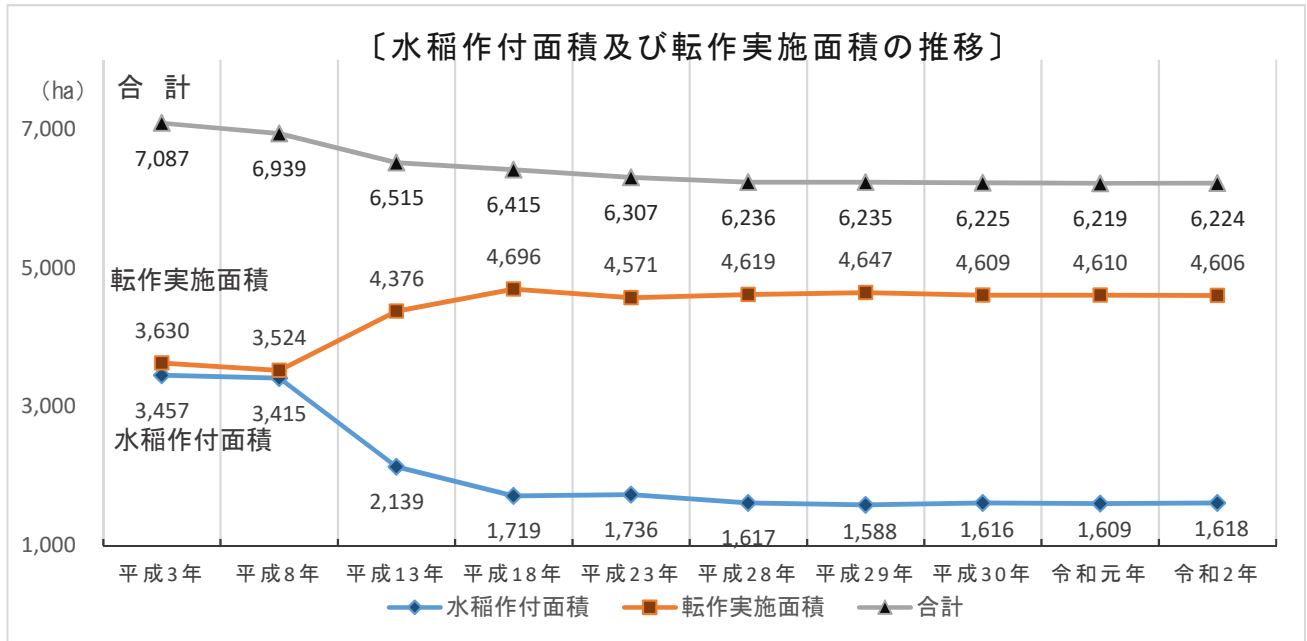


3 水稲作付面積及び転作実施面積

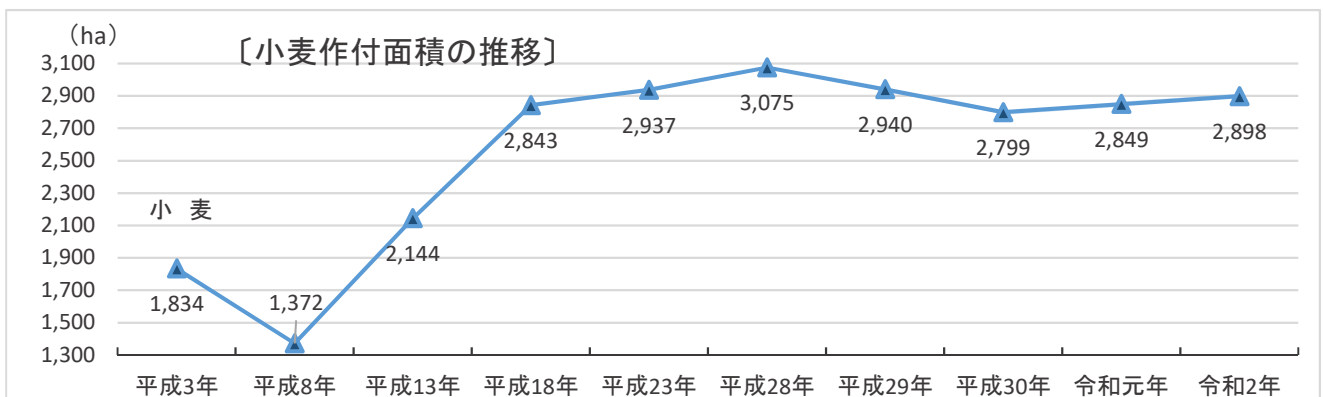
単位:ha

区分 年度	水稲作 付面積	うち主食用	転作実 施面積	転作作付面積内訳(新規需要米等を除く)								
				小麦	大豆	小豆	てん菜	野菜	花き	牧草等	子実とうも ろこし	その他
平成3年	3,457	-	3,630	1,834	373	373	-	-	40	720	-	290
平成8年	3,415	-	3,524	1,372	265	566	47	-	78	789	-	407
平成13年	2,139	-	4,376	2,144	692	451	19	-	73	611	-	386
平成18年	1,719	1,719	4,696	2,843	622	305	32	178	75	572	-	69
平成23年	1,736	1,674	4,571	2,937	502	225	29	229	84	531	-	34
平成28年	1,617	1,556	4,619	3,075	485	50	37	216	72	641	2	40
平成29年	1,588	1,547	4,647	2,940	544	47	63	247	74	647	20	65
平成30年	1,616	1,564	4,609	2,799	576	58	63	277	74	660	40	63
令和元年	1,609	1,542	4,610	2,849	509	63	50	289	69	667	48	67
令和2年	1,618	1,542	4,606	2,898	478	61	53	274	68	653	57	64

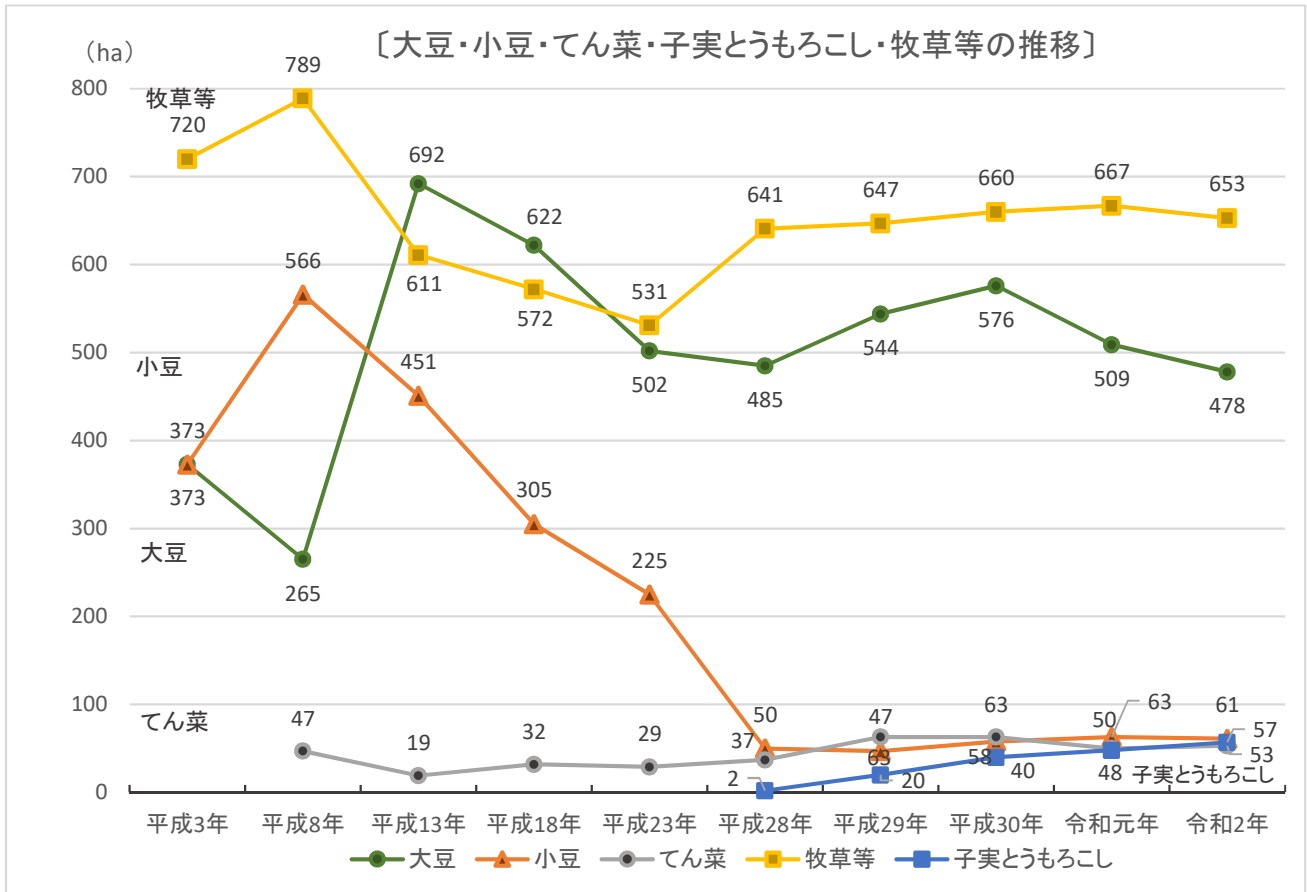
資料:町農務課



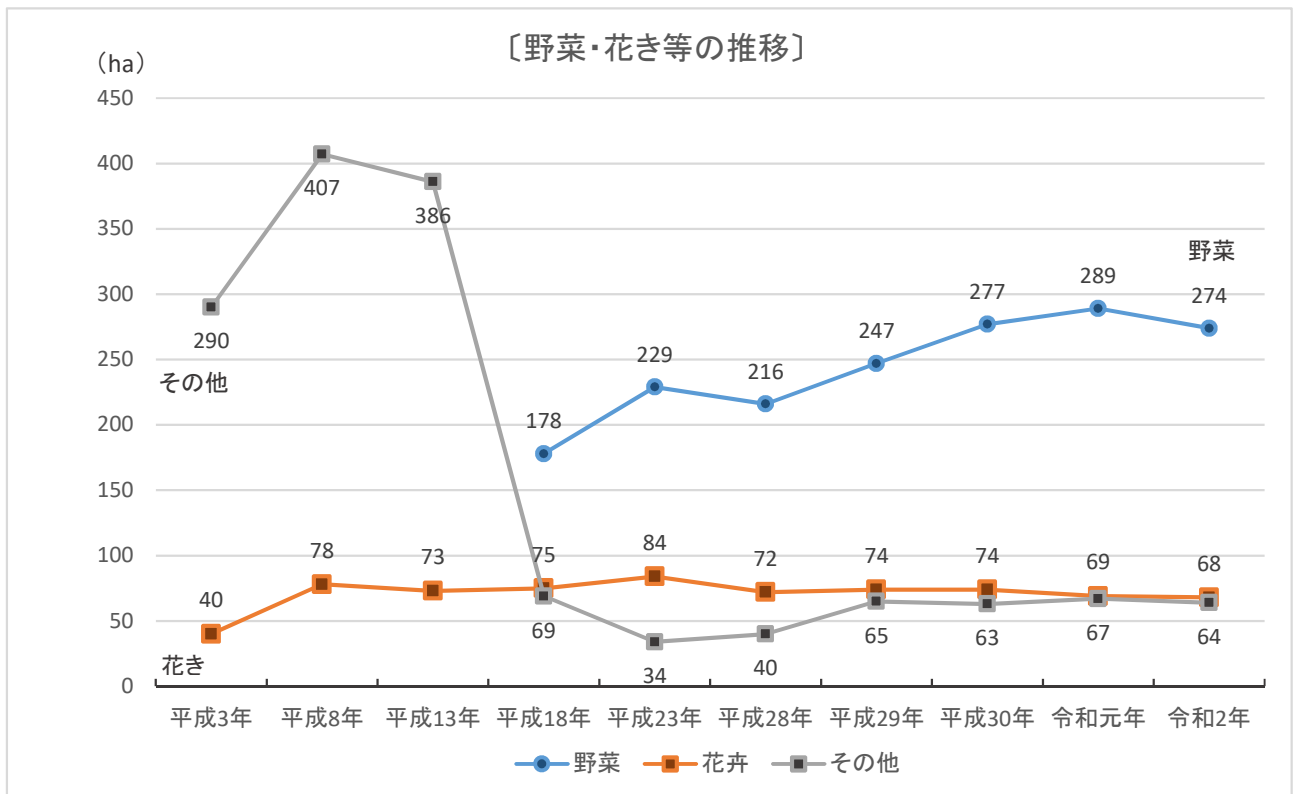
当別町の転作実施面積は、平成14年度以降約4,600haとなっています。



当別町の転作実施面積のうち小麦作付面積は、平成30年度から若干の増加となっています。



当別町の転作作付面積のうち、子実とうもろこしは増加傾向にあり、大豆は平成30年度から減少傾向となっています。小豆の作付面積は、平成27年度まで減少傾向にありましたが、平成28年度以降は、やや増加傾向となっています。



また、野菜の作付面積は平成17年度からのデータで、おおむね増加傾向となっていますが、令和2年度は若干減少しています。この要因は、ブロッコリーの増加に対し、かぼちゃ、キャベツ、アスパラの作付面積が減少したことによります。花きの面積の算定方法は、平成27年度から変更となっています。